

第17回(2021年度) 環境教育研究・実践奨励賞募集のお知らせ

日本環境教育学会では、若手研究者の育成及び実践活動の発展のために、環境教育研究・実践奨励賞の募集を行います。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

1 目的

若手研究者の育成及び実践者の支援を通じ、学会の研究・実践活動の活性化を図る。

2 審査方法

1. 応募者エントリー

- 応募者は「第17回環境教育研究・実践奨励賞申請書」を11月10日までに提出してください。(申請書のフォーマットは学会ウェブサイトからダウンロードいただけます。)
- 提出先は下記の通りです。
環境教育研究・実践奨励賞事務局
incentive_award@jsfee.jp
*メールのみの受付となります

2. 第1次審査

- 「研究・実践概要書」を、①課題の設定、②オリジナリティ、③発展可能性、④完成度の4点から審査します。
- 審査委員(後述のとおり)がメールによる投票を行い、第1次審査通過者を選出します(審査結果は11月下旬にお知らせ)。

3. 第2次審査

- オンライン会議システムを利用し、審査委員が第1次審査通過者のみを審査します。第2次審査の日程は下記の通りです。

日程(予定):

2021年12月4日(土)14時00分~16時00分

- 審査委員の評価点数をもとに最大5名を受賞者とし、研究・実践活動への助成として、一人

3万円(予定)を贈呈します。

- 第2次審査は、一般の会員も傍聴することができます。
- 受賞者はHPやニュースレターなどで発表いたします。

3 申請者の資格と条件

- 2021年3月31日時点で35歳以下の正会員(一般・学生会員)が行う研究報告、正会員(年齢制限なし)による実践報告。
- 過去の受賞者は対象としません。
- 共同研究は可としますが、助成金の授与は個人とします。
- 実践報告の場合、年齢制限はありませんが教員や環境教育施設の職員など実践者を対象とします。

4 審査委員

審査委員は、理事会で承認を受けた本学会の研究委員が務めます。

5 備考

受賞者は、年次大会または3月集会等での表彰を予定しております。

(ダイバーシティ推進委員長/東海大学 岩本泰)